

# 平成29年度 建設業女性就業者座談会 (技術者・技能者)

主催：(一社)愛知県建設業協会・中部地方整備局・(株)建通新聞社

開催日時 平成30年1月30日(火) 10:00~12:40

開催場所 愛知建設業会館 3階会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

(一社)愛知県建設業協会 専務理事 大西 克義

### 3. 座談会

出席者	(有)石富工業	石富 蛍
	大島造園土木(株)	熊澤 未紗
	岡田建設(株)	鈴木 三奈
	太啓建設(株)	原 好美
	徳倉建設(株)	志手 咲穂
	ヤマダ インフラテクノス(株)	仲松 ジャニス

司 会 (株)建通新聞社 滝 麻友

### 4. 講 評

中部地方整備局建政部 建設産業調整官 松居 孝道  
(一社)愛知県建設業協会 労務委員長 竹下 英司

### 5. 閉 会

#### 主催者出席者

(株)建通新聞社報道部 部長	澤田 久仁昭
(一社)愛知県建設業協会 上席	石崎 政彦

# 建設業女性就業者座談会

## 「働きやすい環境」など議論

愛知県建設業協会（徳倉正晴会長）と国土交通省中部地方整備局、建通新聞社は30日、名古屋市内で「建設業の働き方改革をどう進めるか」と題して、建設業女性就業者座談会を開催した。写真。土木や建築の施工管理、建築設計、企画デザインなどの第一線で活躍する女性の技術者・技能者6人が、働きやすい就業環境などについて意見を交わした。

建設業に入職した後のイメージについては、「明らかに男性の方が気を使ってくれている」「思っていた以上に働きやすい」などの意見が出た。また、男社会の中で働きにくいかの問いには、

「職人さんが面白く、『しゃーねーな』と言いながら手伝ってくれている」という意見がある反面、「若いころは『女の子扱い』でも仕方ないが、ある程度キャリアを積んだら一人前扱いして

もらいたい」という、技術者としてのプライドがあった。職場の環境に関しては「おもてなしトイレや更衣室など女性に配慮した設備を整えることで、コストが掛かっていると申し訳ない気がする」とする声も出た。一方で「女性に配慮した設備にすることで、男性も気を使ってくれる」との実情を伝える声もあった。

また、「制度はあるものの運用されていない。主張する勇気が持てないまま従来の延長線上で仕事が行われている」といった、制度運用面での課題も露呈した。ワークライフバランスについては「現状では会社に相談するというよりも、親に相談してやりくりしている方が多い」という意見が出た。その反面、「時短や在宅、フレックスなど会社の制度を活用して仕事を続けている」という意見や、「仕



平成29年度 建設業女性就業者座談会

週休2日など働き方改革についての議論では、「早く帰れ、土曜は休め」と言うなら、それに合わせた仕事量にしてほしい」「現場代理人一人で、現場を管理しながら書類の整理をしていたら休めない」といった実情も。一方で「学生時代の課題提出時から鍛えられている」「会社で初の女性技術者ということ、1年間は通常とは違う制度の下で就業している」という意見も挙がった。

また、「制度はあるものの運用されていない。主張する勇気が持てないまま従来の延長線上で仕事が行われている」といった、制度運用面での課題も露呈した。ワークライフバランスについては「現状では会社に相談するというよりも、親に相談してやりくりしている方が多い」という意見が出た。その反面、「時短や在宅、フレックスなど会社の制度を活用して仕事を続けている」という意見や、「仕

事と家庭、出産、子育てといったライフイベントと両立することは不可能ではないはず。仕事の仕方や分担、勤務態勢など、会社や男性にも理解してもらえよう話し合っている」と、働き方改革にチャレンジしている報告もあった。

出席者は、石富さん（石富工業）、熊澤美紗さん（大島造園土木）、鈴木三奈さん（岡田建設）、原好美さん（太啓建設）、志手咲穂さん（徳倉建設）、仲松ジャニスさん（ヤマダインフラテクノス）。司会は建通新聞社の滝麻友記者が務めた。

当日は、同協会の大西克義専務理事があいさつし、中部地方整備局の松居孝道建設産業調整官と同協会の竹下英司労務委員長が講評した。